
盟和産業株式会社
2022年3月期 決算説明会資料

2022年5月31日



- I 決算レビュー**
- II 通期業績見通しおよび
重点課題の取組み**
- III 株主還元**
- IV (ご参考) 売上高の内訳等**

I 決算レビュー

決算の主なポイント

連結黒字回復

半導体不足等の
影響を受けたものの
前期比増収
連結黒字回復

米国黒字化

米国子会社が
通期で黒字化

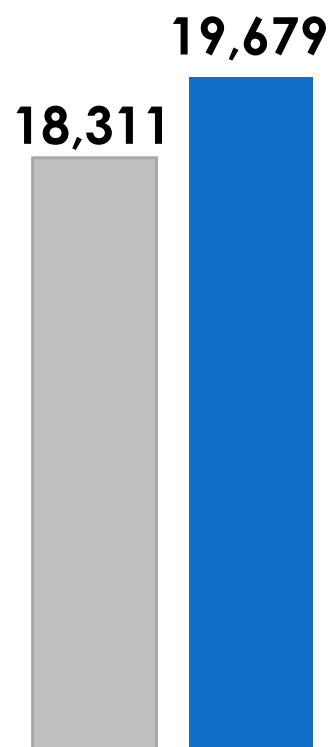
住宅好調

住設資材堅調、
セグメント利益は
大幅改善

連結業績の概要

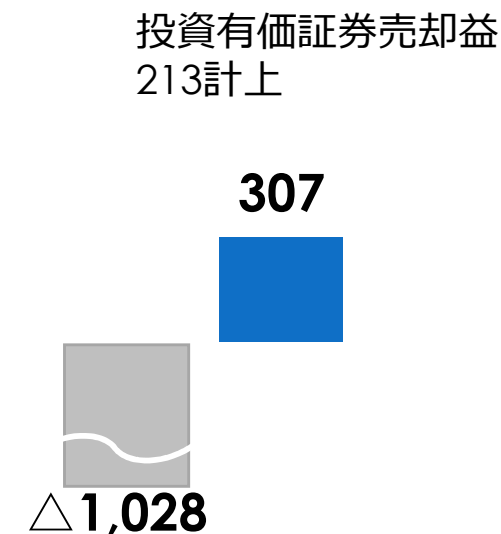
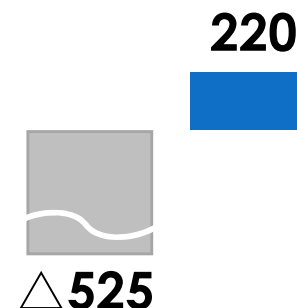
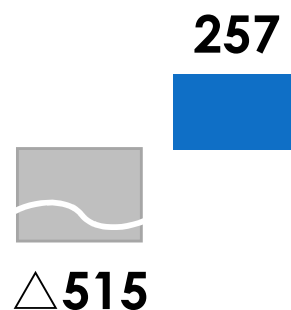
(百万円)

■ 2021 / 3期
■ 2022 / 3期



部品供給制約による
自動車減産あったが
前期比7.5%増収

損益黒字化



投資有価証券売却益
213計上

売上高

営業利益

経常利益

親会社株主に帰属する
当期純利益

米国子会社の業績推移



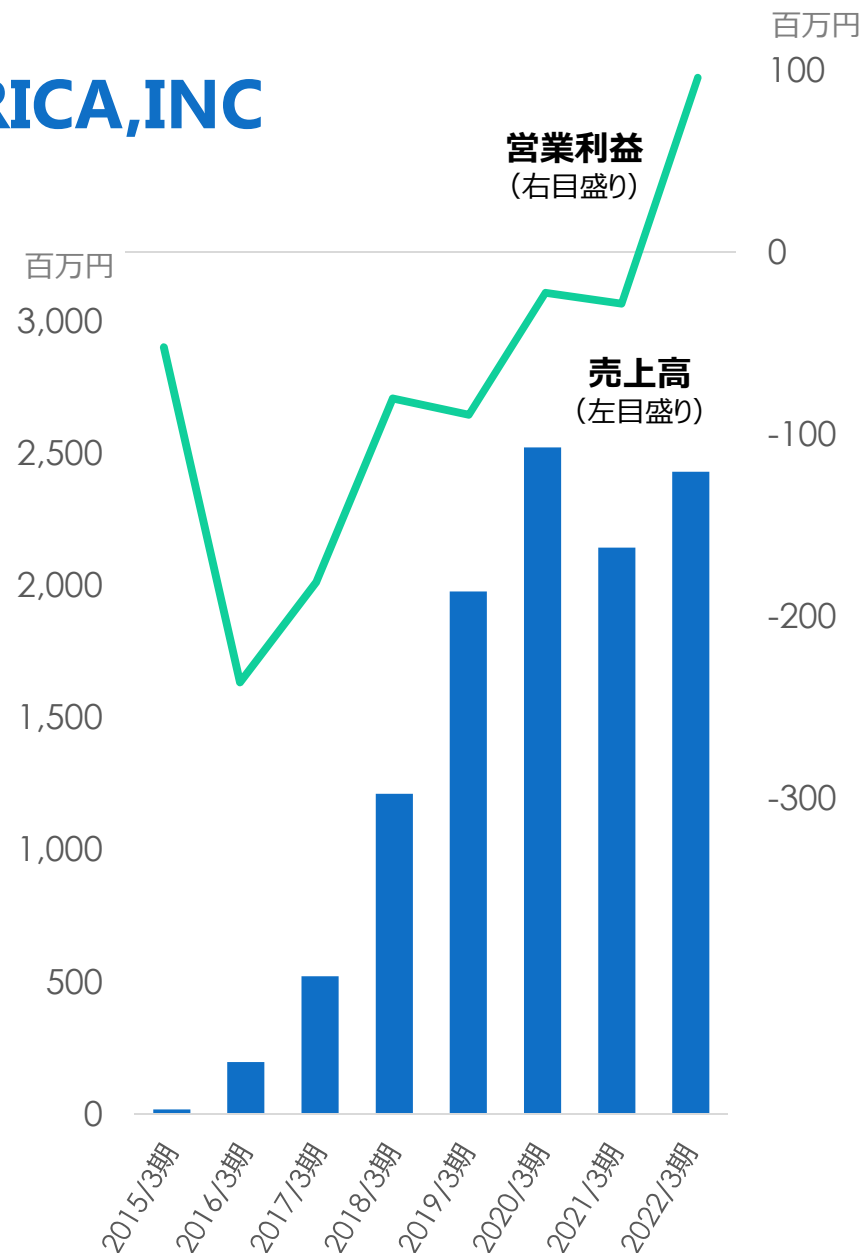
MEIWA INDUSTRY NORTH AMERICA, INC

売上高 **24** 億円
営業利益 **96** 百万円

- ◆ 日系メーカーの受注拡大
- ◆ 材料歩留まり向上
- ◆ きめ細かな労務管理

通期黒字化実現

MEIWA INDUSTRY CO., LTD.



住宅セグメント業績

- ◆ 住設資材堅調、
リフォーム需要に支えられ
売上はコロナ前の水準回復
- ◆ 業務体制の効率化進め
セグメント利益改善

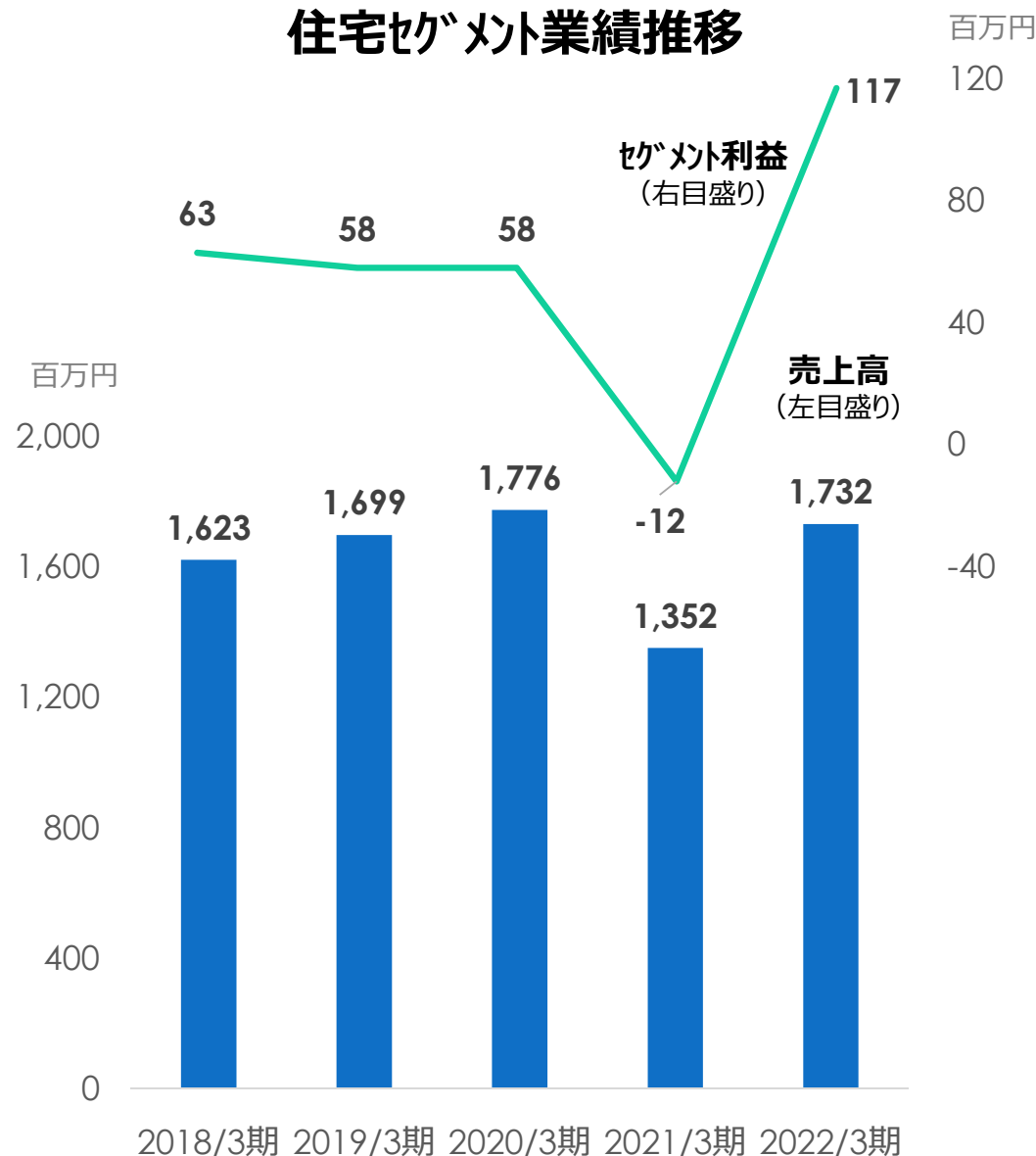


避難所用間仕切り
床・簡易ベッド



当社工場の近隣
自治体で採用

住宅セグメント業績推移

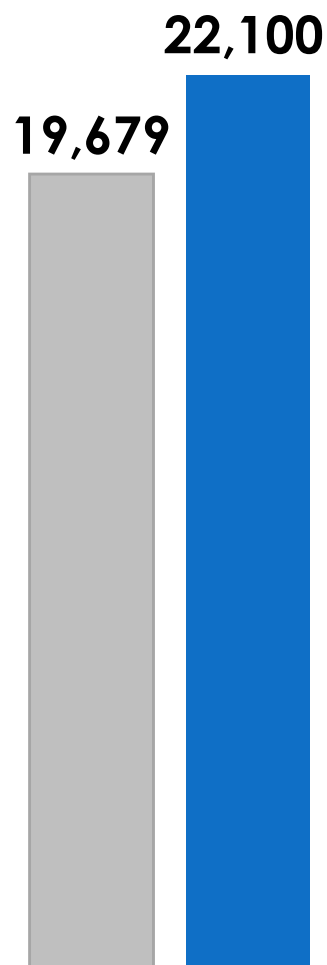


Ⅱ 通期業績見通しおよび 重点課題の取組み

通期業績見通し

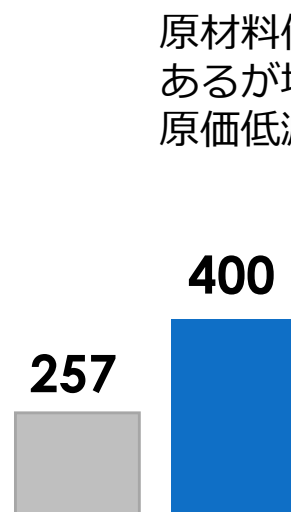
(百万円)

■ 2022/3期実績
■ 2023/3期予想



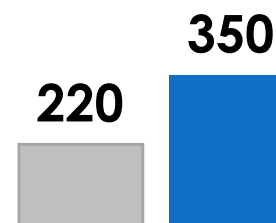
売上高

自動車生産は下期に向けて
徐々に回復を見込む



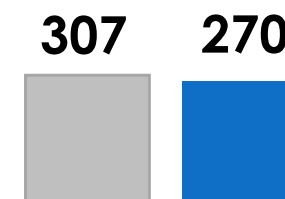
営業利益

原材料価格の上昇等
あるが増収効果と
原価低減で吸収図る



経常利益

特別損益見込まず



親会社株主に帰属する
当期純利益

中期経営計画RD365 概要

▶ 期間

持続的な成長を目指し5～6年後を見据えた計画

			3年後		5～6年後
2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期

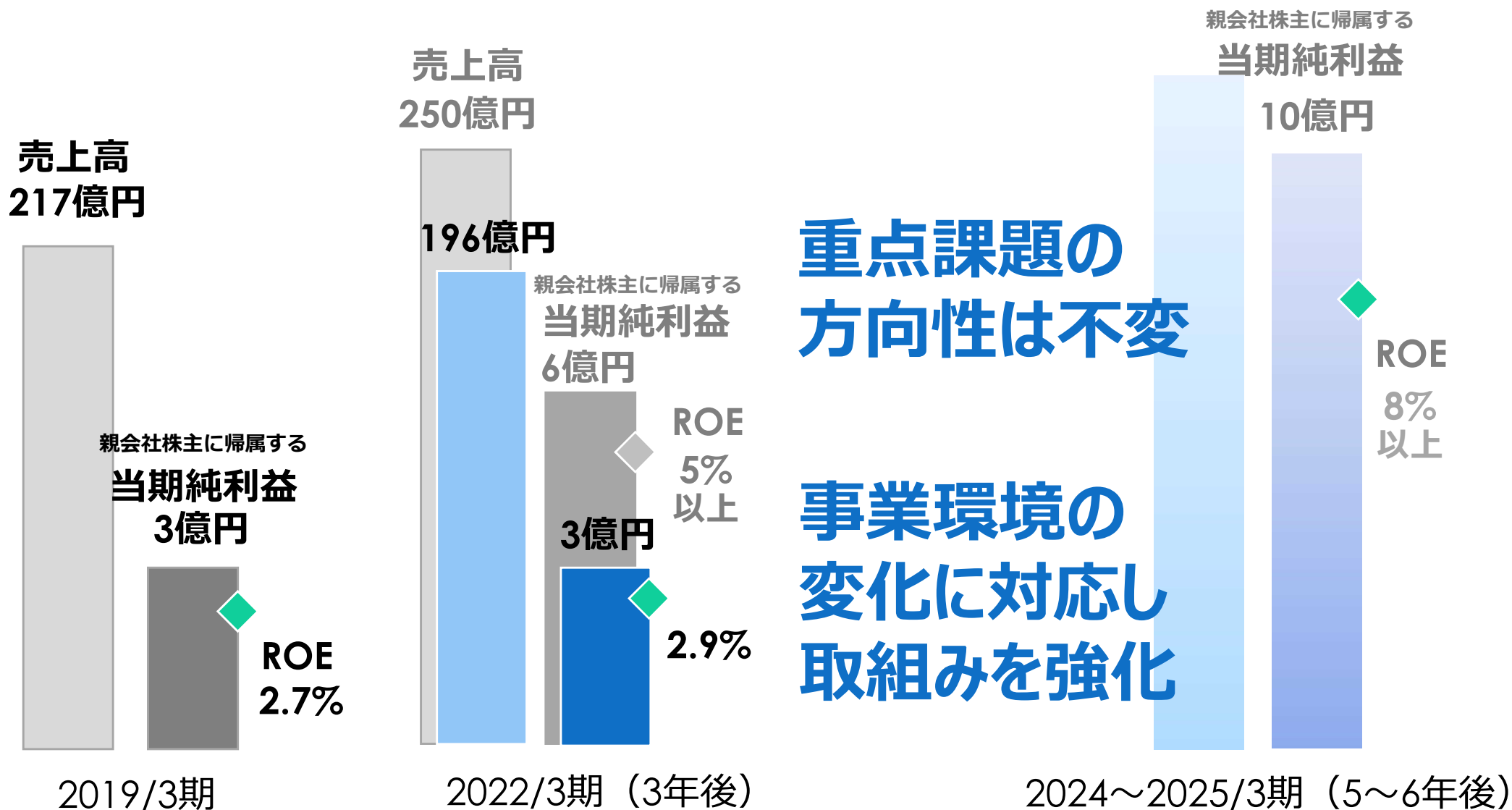
▶ 重点課題

- ◆ 収益力強化 グローバル各拠点の収益化
- ◆ 市場開拓 内外連携強化し受注拡大
- ◆ 新技術開発 次の主力製品開発

▶ 現状

新型コロナウイルス感染拡大、部品供給制約等で自動車減産
2022年3月期は収益改善に注力し黒字回復

中期経営計画RD365 方向性



重点課題 収益力強化

収益力強化

- **自動車減産、急激な受注変動への対応**
 - ◆ 柔軟な生産体制構築
 - ◆ 原価低減案件の積上げ
 - ◆ 体制効率化・報酬見直し
- **グローバル各拠点の収益力強化・自立化**
- **内外生産拠点の役割分担と連携**

市場開拓

- 内外の情報連携による日系自動車メーカーのグローバル車受注
- 軽量・高剛性ラゲージボードなど新製品・新技術提案による受注獲得
- 非日系EVメーカー等の受注獲得
- 住設資材他、非自動車分野の開拓

重点課題 新技術開発 開発テーマ (例)

NO	分野	開発テーマ	期待する効果	SDGsとの関連
1	自動車 内装部品	軽量・高剛性ラゲージボード (3種類) うち、1種類が軽量ゼムライト	軽量 高性能	7、9
2		軽量・断熱材製品	軽量・断熱	9、13
3		電磁波シールド材製品	ノイズ遮断	3、9
4		吸遮音材製品	静粛性	3、9
5		社内端材リサイクル製品	資源循環	12
6	住宅	住設資材の施工性改善	省エネ施工	7、11
7	生産工法	製品端材のダイレクト還元	資源循環 省エネ	7、12、13
7		過熱蒸気加熱	省エネ	7、12

■ 研究開発費 (技術者の人件費等を含む)

2022年3月期 4 億円



気候変動への取組み

目標：2050年カーボンニュートラル達成
2030年までに2013年比で50%削減（SCOPE 1, 2）

- **生産プロセスに於けるGHG排出量の削減に向け
無駄・ロスの極小化と物流の最適化**

工場照明のLED化、構内車両の電動化への切替

- **高効率機器への設備更新**
- **発生端材のリサイクル化で、廃棄物を削減
※サーマル処理で発生するGHGの抑制**

粉碎ダイレクト還元による造粒工程削減で使用エネルギー低減

- **新製品開発による自動車の性能向上**

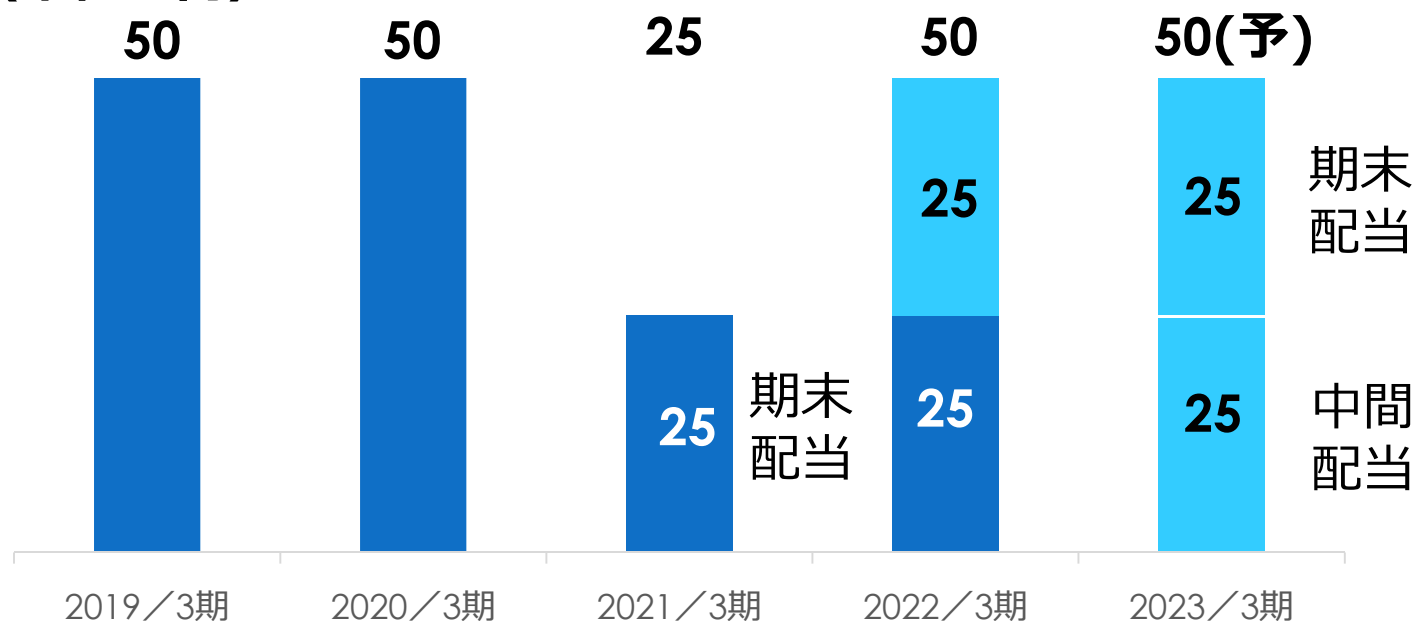
Ⅲ 株主還元

利益配分に関する基本方針

企業基盤強化のために必要な内部留保を確保しながら、安定的な配当の継続を基本に、業績および配当性向等を総合的に勘案して配当を決定

一株当たり配当金の推移

(単位：円)

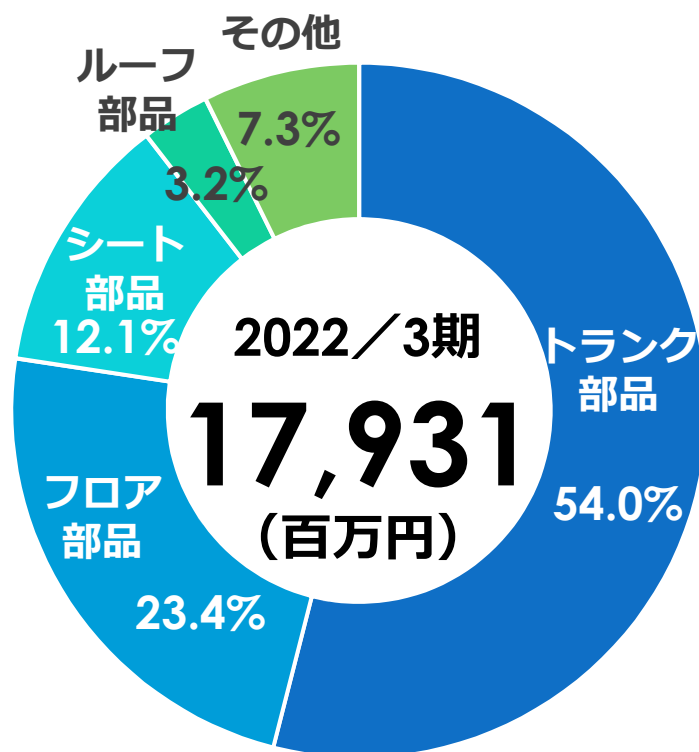


IV (ご参考) 売上高の内訳等

自動車部品の部位別売上高

売上構成はトランク部品が約 5 割

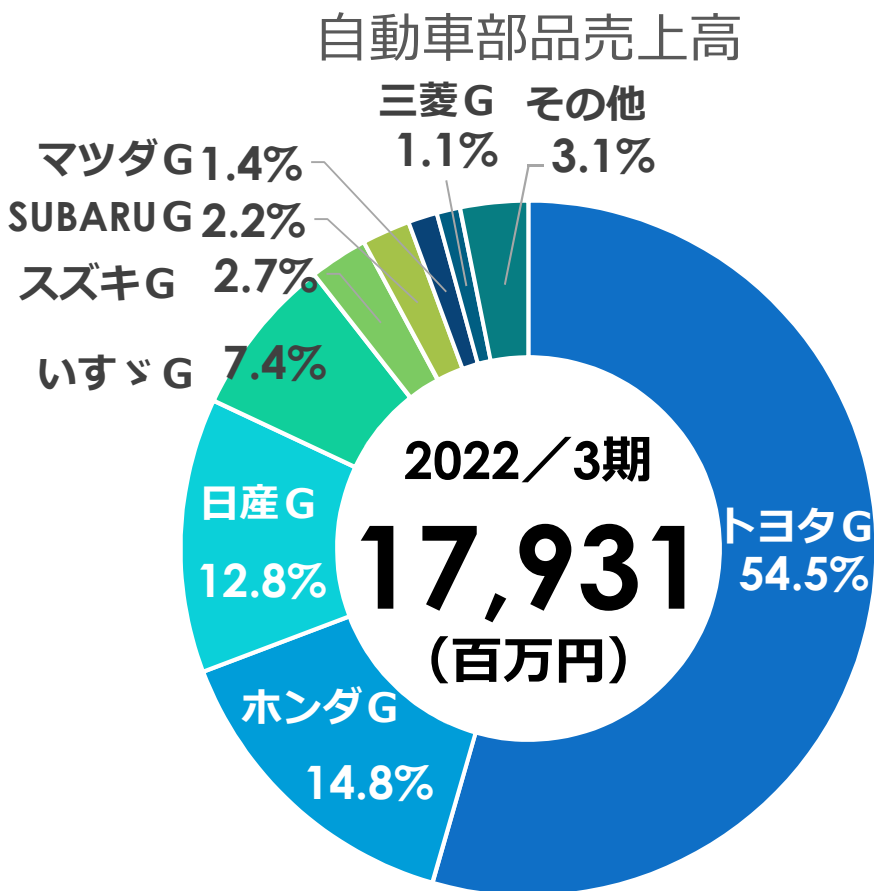
自動車部品売上高



	金額 (百万円)	構成比 (%)
■ トランク部品	9,679	54.0
■ フロア部品	4,201	23.4
■ シート部品	2,171	12.1
■ ルーフ部品	572	3.2
■ その他	1,308	7.3

自動車部品のメーカー別売上高

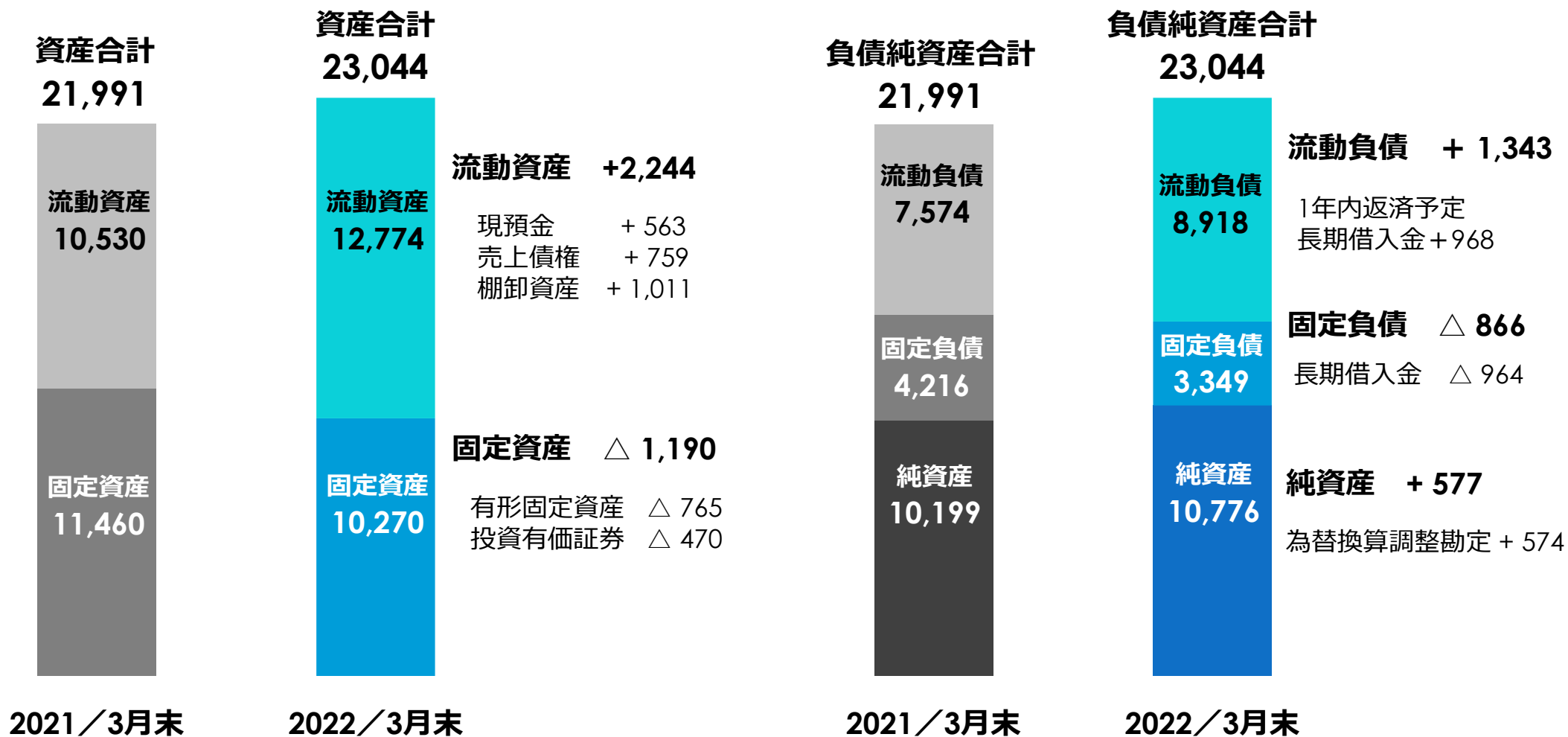
トヨタグループ向けが約5割



	金額 (百万円)	構成比 (%)
■ トヨタG	9,764	54.5
■ ホンダG	2,651	14.8
■ 日産G	2,286	12.8
■ いすゞG	1,333	7.4
■ スズキG	487	2.7
■ SUBARU G	402	2.2
■ マツダG	243	1.4
■ 三菱G	195	1.1
■ その他	566	3.1

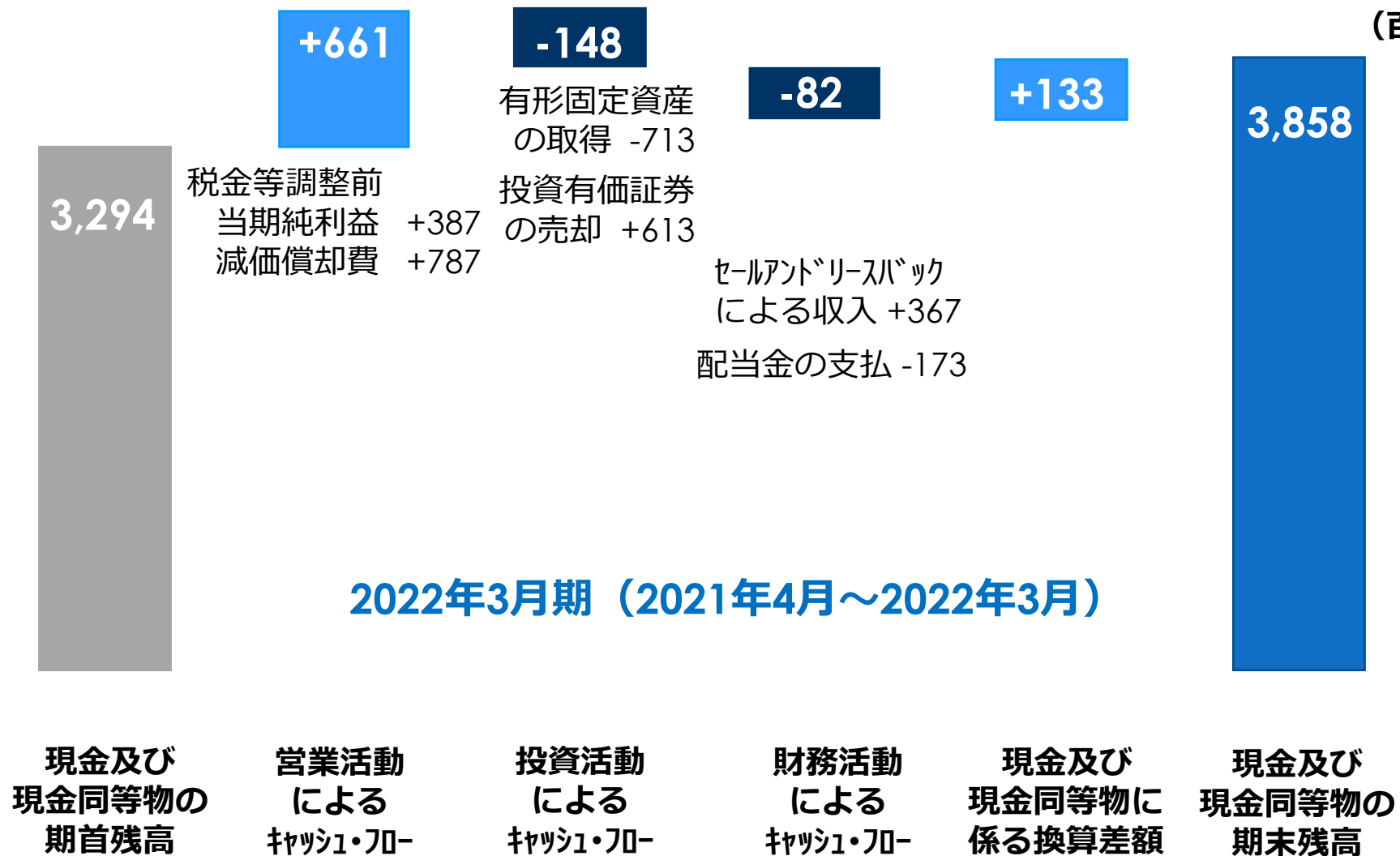
バランスシートの概要

(百万円)



キャッシュフロー計算書の概要

(百万円)



本資料に記載されている将来に関する見通しは、不確定なリスク要因を含んでおります。したがって、実際の結果は様々な要因によって見通しと大きく異なる可能性があります。ご了承ください。

盟和産業株式会社

